



大阪市立大正西中学校

所在地 大阪市大正区南恩加島 6-14-37

電話番号 06-6551-0294 ・ 06-6551-6000

創立 昭和 31(1956)年 4 月 1 日

ホームページ

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j582212>

校長名 松村 隆

標準服 有 エレベーター 有



校長メッセージ

本校は、大阪市立大正中央中学校の分校として、昭和 30 年 10 月 18 日に現在の場所に鉄筋 3 階建て校舎が竣工し、昭和 31 年 4 月 1 日に大正区の 3 番目の中学校として開校しました。

「工場のひびき高らかに」「異国の船もおとずれる」と校歌の中でも歌われているように、大阪の産業の発展に大きく貢献し、海外への飛翔の地として栄える鶴町・南恩加島地域の中学校として、「西中（＝にしちゅう）」の愛称で親しまれ愛されている学校です。

これからもこの歴史と伝統を継承し、国際社会で力強く生き抜く「西中っ子」の育成を目指して、生徒の皆さんが活き活きと学校生活が送れるよう、教職員一同、日々の教育活動に取り組んでいきます。

学校教育目標

人間尊重の教育を基盤に、豊かな心と自ら学ぶ意欲を育て、「生きる力」を育む教育活動を推進する。

重点目標

◎基礎・基本の学力の定着など個に応じた指導を充実させる。

◎学習習慣・生活習慣を身につけさせる生徒指導を実施する。

◎互いの個性や違いを尊重し認め合い、自ら考え行動できる。

校訓

- 根気よく学ぶ人
- 責任を重んずる人
- 明るい朗らかな人



主な学校行事

※令和 7 年度 年度当初計画

- 4 月 入学式 家庭訪問 部活動編成
- 5 月 家庭訪問 中間テスト避難訓練 進路説明会 1 年一泊移住
- 6 月 2 年校外学習 期末テスト 土曜授業 芸術鑑賞
修学旅行 避難訓練
- 7 月 期末懇談会 1 学期終業式
- 8 月 始業式 水泳大会
- 9 月 確認テスト 3 年チャレンジテスト 防災訓練
後期生徒会選挙 文化祭
- 10 月 体育大会 中間テスト 土曜授業(学校公開) 体育大会
- 11 月 職場体験 1 年校外学習 期末テスト
- 12 月 期末懇談会
- 1 月 百人一首大会 1・2 年チャレンジテスト
- 2 月 学年末テスト 小中連携こども協議会
- 3 月 前期生徒会選挙 卒業生を送る会 卒業式 修了式

運営に関する計画（令和 7 年度目標）

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査において、「自分にはよいところがある」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(82.3%)より向上させる。
- 年度末の校内調査において、「将来のこと（進路）や生き方について考えたことがある」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(87.9%)より向上させる。
- 年度末の校内調査において、「困ったときに相談できる先生がいる」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(87.2%)より向上させる。
- 定期的（年 2 回以上）の避難訓練や防災訓練を通して防災意識を毎年高め、地域とともに歩む防災・減災計画に参画する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査において、「まじめに授業に取り組んでいる」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 97.5%より向上させる。
- 食育を推進し、年度末の校内調査において「朝食を毎日食べている」に当てはまらない生徒の割合を 9.4%より減少させる。
- 調べ学習や読書活動など主体的な学習意欲を高めるため、昼休みの図書館開館を原則 5 回とし、昼休みの図書館利用者を平均 15 名以上にする。



【学びを支える教育環境の充実】

- ICT 機器の整備と活用を推進し、授業を中心に、すべての学年や学級で生徒が ICT 機器を活用した活動を行う。
- 年度末の校内調査において、「学校では、命の大切さや社会ルールについて学ぶ機会が多い」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 97.5%より向上させる。
- 年度末の校内調査において、「家で学校の授業の復習をしている」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 41.1%より向上させる。
- 年間の時間外勤務時間実績の平均時間数を、大阪市立中学校の平均値以下にする。

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

正答率	国語	数学
学校	44	36

無回答率	国語	数学
学校	8.7	25.8

(結果の概要) 平均正答率は、全国平均・大阪市平均を下回った。国語では、観点別に「知識及び技能」が全国平均より-6.3%、「思考・判断・表現」の観点で全国平均より-18.5%と観測の差がみられた。「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」が特に全国平均との差が顕著であった。数学では回答方式が選択式の問題では5問のうち4問が無回答率0%であった。そのうち3問は正答率が50%を超えた。「関数」と「データの活用」では、解答形式にかかわらず、グラフが表していることや必要な情報を読み取る問題で正答率が低かった。

(本校の取組) 授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた授業改善の取組として、指導方法の工夫改善と、教育情報利用パソコンの積極的な活用を推進する。また、図書室の積極的な利用による調べ学習や、教科の枠を超えた作文指導の充実により、「記述式」の正答率を高める。

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から

	握力 Kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横跳び 点	シャトルラン 回	50m走 秒	立ち幅跳び cm	ボール投げ m	体力合計点 点
男子	29.21	25.39	38.31	47.39	74.41	8.37	185.72	18.2	37.55
女子	21.48	19.29	39.62	45.38	44.5	9.5	157.81	11.2	42.78

(結果の概要) 本校の平均値を全国と比較すると、男子は上回った項目が1項目、下回った項目が7項目、体力合計点は-4.31点となった。女子は上全項目で下回り、体力合計点は-4.59点となった。男子の握力以外の項目で全国平均を下回り、体力合計点も下回る結果となった。

(本校の取組) 保健体育の授業では、班活動やペアでの練習機会を増やし、生徒同士で教え合い学び合う場面を増やしてきた。ICT機器も活用し、生徒たちが主体的に学ぶように取り組んだ。その結果、「保健体育の授業は楽しい」と答える生徒の割合は男子で75%、女子で51.9%であった。「授業で以前できなかったことができるようになった」と答える生徒の割合は男子で92.3%、女子で100%となった。この取り組みを継続・発展させるとともに、学年行事等で運動を楽しむ機会を増やしていくことや、運動することの大切さを啓発していくことによって、運動することの喜び・意義を感じながら体力向上に取り組んでいく生徒を育成していく。

部活動 (令和7年5月現在)

	部活動名	男	女	計
運動部	ソフトテニス	14	9	23
	男子バスケットボール	16	0	16
	女子バスケットボール	0	14	14
	野 球	20	0	20
文化部	バレーボール	0	17	17
	吹奏楽	3	11	14
	読 書	1	5	6
	美 術	6	11	17



本校の部活動は、より高い水準の技能や記録の達成を目指し、日々努力することによって、生徒自身が大きく成長し仲間との友情も深め、充実した中学校生活を過ごせることを目的に行っています。

大阪市部活動指針「プレーヤーズファースト」に基づいて活動しています。

主な進学先 (令和6年度卒業生)

[公立] 市岡 桜和 今宮 桜宮 阪南 港
松原 西成 今宮工科 泉尾工業
住吉商業 鶴見商業 大正白稜 大阪わかば

[私立] 興國 金欄会 好文学園女子 明浄学院
上宮 大阪偕星学園 大阪学芸 大阪商業大学
大阪信愛学院 金光藤蔭 アナン学園
常翔学園 昇陽 精華 太成学院大学

[専修学校等] N高校 英風 ルネサンス大阪
八洲学園 天王寺学園

防災の取り組み

本校は「火災」と「地震・津波」の防災訓練を実施しています。

「火災」の防災訓練では、教室から運動場への避難訓練の後、大正消防署の指導のもと、水消火器の使用訓練を行います。

「地震・津波」の防災訓練では、例年、区役所と連携した取り組みも行います。日頃より、生徒たちの防災への意識を高めるとともに、災害時に自分の命はもちろん、人の命を救える人材の育成を目指しています。



本校の教育の特色

本校では、学習面・生活指導面等の様々な課題の解決に向けて、常に生徒や保護者の意見・悩みにしっかりと耳を傾け、時には厳しく、時には優しく、生徒の心に寄り添った指導を心掛けています。

また、ベテラン教員と若手教員が、それぞれの良さを存分に発揮し、補完しながら一致団結して、教育活動を進めています。特に部活動や行事、生徒会活動等に力を入れ、生徒たちの自尊心や自己肯定感、社会性の育成を目指しています。

保護者・地域の方の力もお借りしながら、家庭・地域・学校が一体となった教育を推進し、生徒たちの健全な成長へと繋がります。

